

サンシルバー市川だより

日に日に秋が深まり、山茶花が咲き始める季節となりました。朝夕の冷え込みも厳しくなり、冬の気配を感じる今日この頃です。起床時にご利用者が寒くないよう、室温管理をしっかりと行っていきます。

新型コロナウイルスは、国内の多くの地域で感染者数が増加に転じていることやヨーロッパやアジアの一部の国々で感染拡大が起きている状況から、「第8波の流行が起る可能性が非常に高いと考えられる」と、厚生労働省では分析しています。インフルエンザとの同時流行も懸念されるため、引き続き基本的な感染対策をお願いします。

サンシルバー市川文化祭開催中

日時：11月1日(火)～11月18日(金)

場所：1階廊下とエレベーターホール

コロナの感染もなく、ご利用者は習字や生け花、塗り絵や貼り絵、手芸等の制作をいつも通りに続けてこられました。

ご家族様にお見せできないことが残念ですが、

芸術の秋



ですが、デイや各階のご利用者様に見学を楽しんでいただけたらと思います。

●秋から冬は感染症の季節です

10月24日～28日まで看護、介護、リハビリの職員が感染症予防をクイズで学び、感染症予防の知識を深めました。介護者

人保健施設で働いている私たちは、いつどのような感染症が発生しても、動揺せずに対処できるように一人ひとりが



感染症対策の基礎知識を学んでおくことが必要です。この冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が心配されていますので、職員が持ち込むことがないように体調管理をしっかりと行っていきましょう。

また、ノロウイルスは、最初の対処が肝心です。嘔吐や下痢の処理、介助に関わった職員、周りにいたご利用者様の対処を適切にできるかどうかで二次感染の発生が決まります。安易な気持ちで、マスクと手袋だけで嘔吐物処理をすることがないようにしてください。各階とデイにある嘔吐物処理セットの内容を定期的に確認しておきましょう。

●換気・室温・湿度管理をしっかりと

暖房の使用が始まりました。11月1日～加湿器の使用を開始してください。インフルエンザは寒冷乾燥を好み、高温多湿に弱いのが特徴です。予防のためには室温20℃以上、湿度は50%～60%が理想です。常に窓を少し開けてあるので、室温には十分注意を！

●気づきは大切な介護職員の役割

普段のご利用者様の行動や体調の変化に気づきを持つのは、いつもそばにいる介護職員です。「ん？」と思うようなことがあった時は、すぐに周りの介護職員や看護職員に伝えましょう。何気ない行動の変化でも情報を共有し、みんなで様子を見ていきましょう。職員の気づきで救われる命があります。気づきの発信は介護職員の大切な役割です。

●わかるじつじつ目を向けよう

皆さんは、ご利用者様のどんなところに目を向けて介護をしているでしょうか？

できないこと or できること
苦手なこと or 得意なこと
嫌いなこと or 好きなこと
意識して見
ていますか



マイナス面だけでなく、麻痺があっても車椅子で移動することができる、自助具を使えば一人で食事ができる、手すりに掴まれば10秒立っていられるなど「こんなにもできることがあるんだ」というプラス面を目に向け、ご利用者が持っている強さをストレッチングスを生かした介護計画を立てていきます。

編集後記

いつのまにか秋も深まってきました。時々マスクを外して、秋の空気に触れながら紅葉を楽しみたいと思います。介護部長

